

「博多駅」 福岡掃除に学ぶ会が30年間早朝清掃した （撮影2022.12.8）

【認定NPO法人 日本を美しくする会】

清風掃々 49

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

「清風掃々」第49号
二〇二四年六月発行（年四回発行）
〒一六〇－〇〇二三
東京都新宿区西新宿六－一二－六－六〇一
TEL〇三－六三〇四－五八八〇
FAX〇三－六三〇四－五九九〇
発行／認定NPO法人 日本を美しくする会
編集／清風掃々編集室



ホームページ

Web マガジン

イラスト作者　裏表紙　西山　英子さん
本　文　鈴木砂予子さん
青田　菜生さん
秦　由見子さん

●「日本を美しくする会」の理念

「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くすることが私たちの心願です」

人は、いつも見ているもの接するものに心が似てきます。目の前の汚れたものをきれいにしましょう。とくに人の嫌がるトイレをきれいに磨くと、心もきれいになります。トイレ掃除は、「自分を磨くための」一番の近道で確実な方法です。

すべては一人から始まります。家庭や学校、職場、地域で、一人からでも掃除を始めましょう。そして仲間を増やしましょう。掃除をする人は汚さなくなります。

「一人の百歩より、百人の一歩」。人々が毎朝一斉に身の回りを掃除したら、日本中に心地よい風が吹き、穏やかな一日が始まります。そうなれば人々の心が美しくなり、日本はそして世界はかならず良くなります。

当会は2022年、〝SDGs宣言〟をしました。

本誌を読まれ、廃棄またはリサイクルに出されようとされる方には、「資源有効利用」のために他の方にお渡しいただけませんか。

「清風掃々」を手にされた方へ

どうぞ、どのページからでもお読みください。



【編集後記】

▼福岡掃除に学ぶ会30周年

・日本で最初の街頭清掃、この興味あるいきさつは、後世に語り継ぎたい話です。2回連載します。

▼謙学会10周年

・「文武両道」を教養とした加賀藩の流れでしょうか。他の地域でも参考にしてほしい活動です。

▼トピックス

・今号は3件。第300回栃木と健康ランド掃除に学ぶ会、そして便器工場見学と、いずれも特徴ある活動です。

▼教育と掃除

・鍵山教師塾in伊勢

伊勢神宮前にある修養団、その設立の歴史にも掃除があったのですね。すばらしい研修の場です。

・子どもの掃除感想文

新コラム。子どもさんの新鮮で素直な感想には、心洗われる気がします。

▼SDGsと経営

・国会掃除に学ぶ会事務局の中田宏氏の、鍵山相談役とのご縁の経緯やゴミの研究など、興味深い話でした。連載予定。

▼情報公開（1）2024年度予算

・今年度はわずかの赤字予算です。収入増加、支出見直しの両面での取り組みが必要とされます。

▼ちいき通信

・今号は8件。取り上げられると、地域の方は喜ばれるでしょうし、ご寄稿をお待ちしております。

（縄田良作　140-0014 東京都品川区大井1・16・1・2302）



絵　秦由見子

清風掃々 第49号　2024年6月発行（年4回発行）	
発行　認定NPO法人　日本を美しくする会 〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-12-6-601 電話 03-6304-5880　FAX 03-6304-5990 Eメール　nihonsouji@souji.jp ホームページ https://www.souji.jp/	発行人　利　哲雄 編集人　縄田良作 印刷製本　晃南印刷株式会社
賛助会員　個人　年間　1口　1,000円（3口以上） 賛助会員　法人　年間　1口　10,000円（1口以上） 口座名 特定非営利活動法人　日本を美しくする会	1.ゆうちょ銀行から 口座記号・番号：10030-44442691 2.ゆうちょ銀行以外の金融機関 店名：008 預金種目・番号：普通・4444269
*ご入会は、まず事務局に連絡頂き、こちらから指示を差し上げてからのお振込みをお願いします。	

認定NPO法人
日本を美しくする会

清風掃々

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

49

特集
トピックス
教育と掃除
ＳＤＧｓと経営
佳書抄録
情報公開

「第17回　認定ＮＰＯ法人　日本を美しくする会　総会」……2
福岡掃除に学ぶ会30周年　森先生・帆足先生の遺志を継いで　……3
実践＋学び＋若者育成10年　謙学会（石川県）……8
第３００回栃木掃除に学ぶ会　栃木掃除に学ぶ会（栃木県）……12
お客様の喜びは社員の喜び　三森　中（クア・アンド・ホテル社長）……13
便器製造工場見学　愛原　啓介（大阪府）……16
鍵山教師塾 in 伊勢２０２４　鍵山教師塾……18
子どもの掃除感想文　『清風掃々』編集室……22
行政主導のゴミ削減「横浜Ｇ30」　参議院議員　中田　宏……24
『鍵山秀三郎「一日一話」』（11）　鍵山　秀三郎（著）亀井　民治（編）……28
情報公開（1）　令和６年度予算……30

ちいき通信……32　川柳こころの散歩道（10）……36
会の名簿……37　ひろば……40



絵　鈴木砂予子

「第17回　認定NPO法人　日本を美しくする会　総会」

■日程　令和6年2月18日(日)
1部13時～13時50分
2部14時00分～16時30分

■場所と人数
（1部）　93名
・新宿安与ホール　20名
・オンライン　15名
・委任状　58名
（2部）　65名
・リアル　36名
・オンライン　29名

【第1部】

☆審議事項
・令和5年度　活動・決算報告
・令和6年度　方針・活動・予算
・監事　業務監査報告

☆令和6年度の方針
「さらなるシン・凡事徹底で世の中に貢献」
①一人の百歩より百人の一歩
②本部の刷新
③国会掃除に学ぶ会の継続
④次世代への鍵山掃除道のタスキ
⑤教育関連の鍵山掃除道の浸透
⑥伝える・広げるための広報
⑦海外掃除に学ぶ会のサポート
⑧他掃除団体との交流



【第2部】

☆鍵山相談役の近況
鍵山幸一郎氏

☆地域における掃除道レポート
○岩国掃除に学ぶ会代表世話人
三好祐司様
参照「清風掃々」第36、37号
○奈良掃除に学ぶ会代表世話人
羽根康英様
参照「清風掃々」第39、48号

☆パネル討論　司会・中島セイジ
・時政和輝、鈴木砂予子、前田佳織、斎藤大輔、利哲雄
・地域での活動や若者の勧誘、活動の工夫などが議論された。

☆ホームページの解説
斎藤大輔氏

特集

福岡掃除に学ぶ会30周年
森先生・帆足先生の遺志を継いで

2023年12月8日、『福岡掃除に学ぶ会30周年記念大会・第44回福岡実践人研修会』が開催されました。この日、博多駅早朝清掃は31年目に入りました。木南一志さんによる講演『論語と掃除』、JR九州博多駅の鐘ヶ江理恵駅長から感謝状贈呈の後、田中義人顧問による講話「30年の振り返り」がありました。

教育哲学者森信三先生の教えを受けた、帆足行敏（ほあしゆくとし）下写真）先生が30年前に始めた、日本で最初の街頭清掃です。

（取材　編集室）



「紙屑は、その国の文化の象徴ですからね」

帆足先生が、寺田一清先生を通じて森先生と会ったのは1977年、森先生82歳、帆足先生47歳のときでした。その後森先生は3年連続で来福、それぞれ5泊6日で講演行脚をされま

総会第2部参加者数訂正とお詫び

第17回	第16回		第15回		第14回	回
2024年	2023年		2022年		2021年	年度
	訂正	既報	訂正	既報		
36	**50**	57	**15**	9	15	リアル
29	**57**	57	**76**	65	99	オンライン
65	**107**	114	**91**	74	**114**	計

総会第2部は、皆様に会の活動を知っていただく大切な場であり、また関心度も伺える公式数字です。

このようなミスが起きた理由は不明ですが、以後十分注意します。

訂正とお詫びを申し上げます。

した。その中で、衝撃的な出来事がありました。（月間「致知」１９９６年12月号）

「福岡中洲の焼肉店に道友４名、師を囲んで夕食を共にした。師の食欲はわれわれを凌ぐものがあった。ビールは小さなコップで２杯程度お飲みになったようである。顔はやや赤み、にこにこ上機嫌であった。『ここらで那珂川辺でも散歩しましょうか』となった。午後７時、初夏の陽はまだ明るく吹く風は爽やかで心地よい。

歩道の広くなったところにさしかかると、師は少し離れたところで、散らかっている紙屑を素手で拾い始めた。見渡す限り紙屑はつづいている。同伴の４名はしかたなく師に従った。さあ大変！何時までかかるかわからない。恐る恐る勇気を振るい、『どうでしょう、限りがありませんが』とお尋ねした。すると『もうこれくらいでいいでしょう』と、ぽんぽんと軽く手を叩きながら、『紙屑は、その国の文化の象徴ですからね』といわれた。

私には、紙屑はその『街』の文化の象徴、と聞こえて大変恥ずかしい思いがした。この『国』とはどこの場所に置き換えることもできる言葉と受けとめられた」（以上引用）


中洲の繁華街と那珂川の夜景

森信三先生に師事する

帆足先生が森信三先生を知ったのはその前年の１９７６年、46歳のときでした。そのときのことを次のように語っています。（同引用）

「私が市教育委員会指導主事になった2年目に、ある高校長から『生を教育に求めて』という小冊子を読むように勧められた。この表題を見ただけで強く心がひかれ、急いでページをめくった。

『学者にあらず、宗教者にあらず、はたまた教育者にあらず…』。実に不可思議に思い、緊張してさらに次のページをめくった。

・教育とは人生の生き方の種蒔きをすることである。

・教育とは流水に文字を書くような果てない業である。だが岸壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ。

・教育は、何よりも教師自身が自己の『心願』を立てることから始まる。

この言葉は本当に強烈に胸に響いた。その日は仕事がまったく手につかず、早めに帰宅して真剣に読んだ。大事と思われるところには朱線を引いた。再読を繰り返すうちに全文朱線に染まって真っ赤になり、一文字といえども見逃し得ない文章に驚いた。

このときから、森先生への畏敬の念が強く、一刻も早く拝顔の栄に浴したいと心に決めた」

実践を通して教えた森先生

「学校を訪問したときのこと。タクシーには『若い者が先に 年寄りは後からです』といわれた。校門の手前で降り、正面に立つと脱帽して深々と礼をされた。玄関までの途中にゴミがあれば拾われる。雑草が生えていると、『これは貧乏草といって、これが生えだすと必ず学校は乱れてきます。会社でいえば倒産です』といって、草取りを始められた。私どもも一緒に始めた。

当時は学校教育とは無関係のように聞いたが、自分が校長になると、このようなことこそ極めて大切な学校経営の一つであることがよくわかった。

太宰府天満宮をご案内したときのこと。多くの参拝者の中、師の姿が見えないので振り返った。すると赤ん坊連れの若夫婦がギターを弾き、唄っている前にじっと立ち止まって、聞き入っているではないか。師のことだから余程の芸人だろうと、私どもも静かに聞いた。

曲が終わると師は帽子を脱いで頭を下げ、『しっかり頑張ってください。くれぐれも身体を大事に』とお金を渡された。そしてしばらくして、『今晩何処に泊まるんでしょう』と呟かれた。このように路傍の物乞いに、誰からとも気付かれずこっそり投げ銭しておられるのを私は何度か目撃した。今でも眼に焼きついている。

森先生はこのように、あらゆる場面で、実践を通して多くのことを教えてくださった」（以上引用）

博多駅早朝清掃の立ち上げへ

１９９０年帆足先生定年退職、

が、当社の見学に来られました。

11月7・8日、大正村で第1回掃除に学ぶ会発足。私も、11月20日の第2回福岡実践人研修会で話をしました。そしてその翌12月8日、帆足先生は博多駅早朝清掃を始められました。

当時の博多駅はホームレスの方が多く、段ボールやゴミに溢れ、グレイチングも泥とゴミだらけでした。この玄関口を何とかしなければならないと、10名ほどで始めました。

さて、帆足先生は、福岡商業高校の校長を最後に退任されましたが、森先生の教えを実践していくつかの学校を再建されました。先ず校長室から始め、次に職員室…人に指図するのではなく、ご自身の行動を通して周りに影響を与

掃除に学ぶ会との出会い

田中義人顧問は30周年記念大会の講話で、「博多駅早朝清掃は、故帆足行敏先生が森信三先生の教えを具現化した実践の場、街頭清掃の聖地です」と言われ、次のように続けました。

1991年11月23日、私が大正村で鍵山相談役に出逢ったころ、森信三先生はご存命でした。寺田一清先生はじめ実践人の方々は、森先生の教えを具現化すべく行動していて、第一人者が帆足先生でした。相談役の掃除には、森先生の教えがベースにあったと思います。

1993年5月の第1回福岡実践人研修会で、鍵山相談役と寺田先生が講演されました。10月、帆足先生と教え子の「八仙閣」社長

1992年森先生逝去。森先生の衝撃の一言から15年、帆足先生はいよいよ動き始めます。

「1995年ユニバーシアード福岡大会が決まりましたが、国際都市福岡は掛け声だけで、私たちには何ができるか考えました。そこで、福岡市をきれいな誇れる街にしたい、外国の方が多く集まる玄関口の博多駅を掃除しよう、という意見が出ました。しかし私たちの力はあまりにも小さすぎ、士気は上がらず絶望的でした。

ところが『何にもせにゃ何にもないじゃないですか』という、Aさんの言葉には迫力がありました。その情熱からこの掃除は始まったのです」（「かがやき」25号編集）

そして、掃除に学ぶ会との出会いがありました。

え、最後は先生方も参加して学校を再建されました。

森信三先生の、博多中洲での「紙屑はその街の文化の象徴です」の言葉は、帆足先生の中にずっと残っており、これにご自身の学校再建の経験と鍵山相談役との出逢いが加わり、博多駅早朝清掃に繋がったと思われます。

これが日本で最初の街頭清掃であり、その後名古屋や新宿、京都などに広がっていきました。森信三先生の教えを実践継続された帆足先生が始められたこの博多駅早朝清掃には、原点的な重みがあります。（以上　田中氏）

そして開始

「開始は森先生がお亡くなりになられた翌年1993年12月8日。『ゴミ戦争に勝とう!』と、開戦の日としました。八日の八は末広がりの意。博多駅を選んだのは、九州の中心であり全国を結ぶ新幹線があること」（「かがやき」25号）

スローガン「博多駅を日本一美しい駅にしよう」を掲げて、歴史が始まりました。（つづく）



第222回　2014・5・8

【資料】

森信三先生　1896年（明治29）愛知県生まれ。1923年（大正12）京都大学哲学科入学、西田幾多郎先生に教えを受ける。天王寺師範の専攻科講師。1939年（昭和14）旧満州の建国大学教授、敗戦により生還、1953年（昭和28）神戸大学教育学部教授、その後神戸海星女子学院大学教授。1975年「実践人の家」建設。1992年（平成4）逝去。

帆足行敏先生　1930年（昭和5）大分県生まれ。1953年福岡商科大学（現・福岡大学）卒業。炭鉱会社に採用、肺を病み退職、大濠高等学校教諭に。福岡市教育委員会指導主事、高校長歴任。1990年定年退職。「実践人の家」副理事長、福岡掃除に学ぶ会代表世話人、福岡実践人代表理事。2017年6月26日逝去。

実践＋学び＋若者育成10年
地域の中核人材をめざして
石川県金沢市　謙学会（けんがくかい）

「社会的知識や基本的なマナーを身につけ、企業の持続的成長の一翼を担う人材を育成する」を掲げ、謙虚さと集団再建三原則*を学ぶ「謙学会」が10周年を迎えた。

*時を守り、場を浄め、礼を正す

（取材　編集室）

謙学会とは

社会貢献活動と各種プログラムを組み合わせ、「①心の荒みをなくす②道徳心の向上を図る③チャレンジ精神を養う」人間力や、相互尊重の精神を身につけた人材を育てることを目的とします。

毎月原則(第2)土曜、午前中トイレ掃除、午後座学と体験発表・交流会が、基本です。

カリキュラム

○社会貢献―トイレ掃除

金沢市管理の、各所の公衆トイレを掃除します。その他、「日本を美しくする会」の学校トイレ掃除などにリーダーとして参加し、リーダーシップも学びます。

○座学

さまざまなものが用意されており、毎回2～3件学びます。

(講　話)「掃　除道」などについて、塾長や経営者の話など

(読書感想)月刊「致　知」の感想文を書き、発表する



(DVD視聴)「てんびんの詩」「奇跡のリンゴ」「プロジェクトX」など

(マインドマップ)　思考の整理や記録

(SDGs)　環境、経済、社会の調和の理解

(交流分析)　人間関係の分析

(プレゼン)　(上写真)

(座禅)　東光山大乗寺

(グループ討議)

謙学会の歴史

石川掃除に学ぶ会の前代表世話人市山勉氏(67)の発起によります。市山氏は、掘削工事から成分分析書発行まで行える温泉企業、㈱エオネックスの経営者。

1996年鍵山秀三郎著『日々これ掃除』を読んで感銘を受け、毎朝会社のトイレ掃除を始めます。

1999年、イエローハット金沢営業所と本社でトイレ掃除研修

2003年金沢掃除に学ぶ会を発足し代表世話人に。

市山氏は自ら研修などを受け、良かったものを社員にも勧め、会社に導入してきて、それが会社の風土にもなっているそうです。

「(心を養う)掃除は大事な実践ですが、社会・会社においては技術スキルも大事です」

関連企業や地元活性化に力を入れており、自社とグループ企業に加え、地域の人材育成のために、2013年「謙学会」発足、塾長。

知り合いの社長に話したところ賛同を得て、「エオネックス」「土質屋北陸」「設備職人」「米沢電気工事」「日産プリンス金沢」などの企業が研修生を出してスタートしました。

初年度は、倫理法人会の早朝講話と別日にトイレ掃除などをおこない、前者が48回、後者が20回。2年目以降これらを1日にまとめた現在のカリキュラムにしました。

謙学会10年の歩み

2013年の発足以来、研修生総数は178名。講師は、地元の多彩な専門家や各社社長に頼んで、予算は抑えています。

以下運営側の皆さまの話です。

○市山勉相談役

「初期卒業生の多くは、今店長クラス以上になって活躍しています」

「金沢のほとんどの学校でトイレ掃除をおこなってきて、子どもの教育や人の交流で大きな効果が出てきたと思うが、働き方改革やコロナで活動が難しくなっています」

「せめて謙学会では続けていますし、また金沢(現・石川)掃除に学ぶ会は、メンバー会社が地区の公園の清掃を受け持つ『公園里親制度』を市と合意しています」「私も後輩が育ってきて、掃除に学ぶ会は森川氏に、謙学会は北田氏に移譲しました」



○北田展之氏　今期塾長就任

「私自身第1期生です。市山社長と10年やってきて、昨年塾長のお話が来たときには、喜んでやらせていただきますとお答えしました」

「送り出した会社の社長さんのご意向もお聞きして、事務局5名はカリキュラムを毎期工夫改善しています」「研修生のモチベーション維持に気を遣っています」

○森川和重副塾長

「事務局はボランティアですが、みな進んで参加しています。その日が来るのが楽しみです。それは、若い人を育てる〝やりがい〟があるからだと思います」「研修生は、期の始めと最後では全然違って大きく成長します。1年12回続けることに意味があります」

第10期参加報告

□2月10日(土)　9～19時

□プログラム　次頁

□研修生　12名

研修生の感想

・当初便器に直接手を入れることに抵抗があったが、いまは当然のこととして取り組めている。「公共の場所を清潔に保つ」や「心を磨く」重要性を改めて認識した。

・読書を通じて知識を広げ、自己の中心に哲学的視点を持つことは、充実した人生を築く重要な要素だと学んだ。これらを、日常業務のより良いサービスや人間関係構築のために実践していきたい。

・謙学会では「読む・書く・聴く・伝える」を学んできた。今回のプレゼン大学では、効果的に伝える重要性と手法を学んだ。得た学びを十分活かし、「三方よし」を基本に、信念をもって仕事に取り組みたい。

【編集後記】

「実践」と「学び」の両方を地域の「人材育成」に結びつけ、システマチックにおこなっている会は珍しい。

今回、研修生はトイレ掃除では、無駄口なく自ら進んで動いていた。座学は「プレゼン」。営業などでいかに相手を引き付け説得するかの実地想定訓練に懸命に取り組んでいた。討議も、しっかり自分の意見を話していた。今期10回目、森川副塾長の「1年を通じておこなう研修の意味がある」のだろう。

すばらしい活動であり、このような会が各地にできればと思いつつ取材しました。



第 10 期　謙学会　研修スケジュール

No.	日程	トイレ掃除:清掃(A)	研修内容	研修会場
1	2023 年 4/8(土)	柳瀬川つつみ公園 管理:㈱エオネックス	① オリエンテーション……高田事務局長　総合 ② 掃除に学ぶ……市山相談役　A ③ 掃除道……森川副塾長　A ④ 木鶏について……森川副塾長　総合 ⑤ TA 交流分析……北田塾長　総合	ｴｵﾈｯｸｽ (本社)
2	2023 年 5/13(土)	城北中央公園 管理:金沢市緑と花の課	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② マインドマップ……杉本嵩龍様　総合	北星産業 (本社)
3	2023 年 6/10(土)	しあわせの湯周辺	① 登山体験(鞍掛山/小松市)……今井事務局員　C ② 講話……上田顧問　総合	北星産業 (本社)
4	2023 年 7/8(土)	金沢南総合公園 管理:金沢市緑と花の課	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② 映画「42～世界を変えた男」…北田塾長　B ③ 講話……小林顧問　総合	北星産業 (本社)
5	2023 年 8/5(土)	額谷ふれあい公園 管理:金沢市緑と花の課	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② SDGs……杉本嵩龍様　総合 ③ マインドマップ(復習)……杉本嵩龍様　総合	北星産業 (本社)
6	2023 年 9/2(土)	姉妹都市公園 管理:金沢市緑と花の課	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② プレゼンテーション……北田塾長　総合 ③ 映画「クール・ランニング」…北田塾長　総合 ※前年度塾生最優秀プレゼン　推薦映画	北星産業 (本社)
7	2023 年 10/14(土)	駅西中央公園 管理:金沢市緑と花の課	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② 課題グループ討議 01……高田事務局長　総合 ③ 講話……鳥居顧問　総合	北星産業 (本社)
8	2023 年 11/11(土)	弥生さくら公園 管理:金沢市緑と花の課	① 参禅研修……東香山大乗寺　A ② 木鶏……森川副塾長　総合 ③ 課題グループ討議 02……高田事務局長　総合	北星産業 (本社)
9	2023 年 12/9(土)	金沢市民野球場 管理:金沢市スポーツ事業団	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② 塾生代表プレゼン 01……発表:塾生代表　総合 ③ 塾生推薦映画鑑賞 01……高田事務局長　総合 ④ 講話……蟹瀬顧問　総合	北星産業 (本社)
10	2024 年 1/13(土)	金沢市民サッカー場 管理:金沢市スポーツ事業団	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② 塾生代表プレゼン 02……発表:塾生代表　総合 ③ 塾生推薦映画鑑賞 02……高田事務局長　総合 ④ 講話……木村道明様　総合	北星産業 (本社)
11	2024 年 2/10(土)	金沢市営陸上競技場 管理:金沢市スポーツ事業団	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② プレゼン大学……田村隆様　総合 ③ 講話……縄田良作様　総合	北星産業 (本社)
12	2024 年 3/9(土)	安原スポーツ広場 管理:金沢市スポーツ事業団 ※活動終了後 掃除道具清掃	① 木鶏……森川副塾長　総合 ② 映画「てんびんの詩/少年編」…北田塾長　B ③ 修了式……修了証授与:北田塾長	北星産業 (本社)

※表中の記号分類　(A)心の荒みをなくす ／ (B)道徳心の向上を図る ／ (C)チャレンジ精神を養う

トピックス

第300回栃木掃除に学ぶ会

■日時　1月7日(日)
　6～7時半
■場所　JR宇都宮駅前
■参加　26名

1997年10月、植木政行(植木鋼材)、**鈴木健夫**(ヘイコーパック)、**阿部真一**(冕南印刷)**の3氏で発足させた「栃木掃除に学ぶ会」。毎月第1日曜日の朝6時から、休むことなく続け、第300回を迎えました。**

(取材　編集室)

栃木掃除に学ぶ会の主な活動

他に、2000年からオリンピック年ごとに「日光二社一寺世界遺産大会」を開催(2023年から毎年)。2011年から「国道50立体交差」、2013年から「JR鶴田駅前」、そして学校トイレ掃除など活発に活動しています。

今回も、道具管理、運搬車などは、植木鋼材さんとヘイコーパックさんが分担し、発起人3氏の企業さんがよく連携していました。

参加感想　見事な活動でした。(1)手順が定着。　時間は予定通り。準備や清掃は皆が分担、きびきびしていました。資源ゴミのキャップ・ラベルはがし、洗浄、分別。ゴミ袋は洗って再利用。

感動は、「キャスター付き移動湯沸かし器」(写真)です。お湯を入れた粗中間仕上のタライは約10個、厳寒の中ペットボトル洗浄も快適でした。なおこの器械は、山形と山梨の会に寄贈されたそうです。(2)若い人が多い。エネルギーと活気があり、またフレンドリーでした。2017年代表世話人が原田孝之氏(50)に若返ったこともあるようだと聞きました。



終了後、道具を植木鋼材に運び、保管庫に格納し終わるまで、何人もの人が手伝う様子にも感銘を受けました。原田氏は途中、元日発生の能登地震の支援に出発、頭が下がりました。



お客様の喜びは社員の喜び

クア・アンド・ホテル社長　三森(みつもり)　中(あたる)

ビジネスホテルと健康ランドを経営する、㈱クア・アンド・ホテル。お客様への3つの約束「最高のおもてなし」「完全な安全性」「徹底した清潔さ」を掲げる。コロナで3年間休止した「掃除に学ぶ会」が、2023年度再開した。ビジネスホテル(山梨県)と、健康ランドは石和(山梨県)、信州(長野県)、駿河(静岡県)の3か所で、年間100万人以上のお客様を迎える。

(取材　編集室)

健康ランド掃除に学ぶ会

2023年度、信州は10月、石和11月、駿河今年2月7日開催。

駿河は417室を擁する大施設で、参加者101名は、掃除班と食事の11班に編成された。

全館休館で工事・設備メンテ日の開催。停電でエレベーターや照明が使えず、水道も使えません。

水はポリタンクの限られた水を大事に使い、照明は小さなランタンが班当たり2個のみでした。12階の班は、階段を歩いて上がりました。

伊東と山梨掃除に学ぶ会が、道具などを協力しました。



(参加者の感想)

「電気と水がなく、東日本大震災のときを思い出します。かえって便器磨きに集中できた」など…「与えられた条件で知恵を出し工夫する」貴重な経験でした。

以下、三森社長に聞きました。

＊

掃除を経営に導入した経過を教えてください。

2010年鍵山秀三郎著『掃除道』を読んで感動し、日本を美しくする会を調べると、山梨掃除に学ぶ会がありました。すぐ、清水徹代表世話人(当時山梨県警察学校長)に、話を聞きに行きました。

清水氏から「一度学校のトイレ掃除に参加されませんか」と勧められ、幹部数名と参加しました。

そして「これはとても良いことだ」と感じて、会社に導入しようと思いました。聞けば、清水氏は翌年定年退職予定だとか。清水氏は仕事をご予定のようでしたが、口説いて取締役として来てもらいました。

翌年4月清水氏入社。6月には、石和駅前の街頭清掃を幹部2、3名で始めました。清水氏は先頭に立って会社の掃除活動を引っ張ってくださいました。

2014年5月、日本を美しくする会の応援もいただいて、「第1回駿河健康ランド掃除に学ぶ会」を発足。その後、信州、石和でも発足させ、年に一回活動してきました。

学ぶ会には、従業員やテナントさん、他ランドの幹部や私と妻も参加します。テナントさんにも、施設に愛情を持ちお客様を大事にする心を育てるためにも、参加いただいています。掃除は、接客の仕事をする人々にとって、心を磨く人間学となると考えます。

従業員教育に力を入れておられますね

「会社の成長は社員の成長があってこそ」と、自立型の社員をつくろうと力を入れています。

まず**読書感想文**、掃除同様人間を磨くために、社員は年に4冊、パートの方も1冊読んで書きます。

「**おふろ甲子園**」は、接客や清掃などのソフトが選考対象で、全国数十か所のお風呂施設が競います。過去5回開催のうち、3つのランドはそれぞれ優勝しました。社員やパートさん、テナントさんなどランドの全員が力を合わせ、気持ちが一つになるとても良い機会でした。



信州健康ランド　おふろ甲子園優勝（2014年）

「**伝書鳩**」という提案制度があります。お客様に褒められたことや意見などを、全員が毎週一件提出します。お客様のご不満を知ったり、またコロナの時期「感染が怖い」という声が寄せられたときには、お客様と従業員を守るために「全館休業」を決めるなど、経営判断にも使います。私はすべてに目を通して返事もし、それを幹部が共有します。その他**研修派遣**や**通信教育**など、業務に役立つ勉強を後押ししています。**表彰**もあります。

お客様や従業員を大切にする、立派な経営をされていますが

創業者の父や鍵山相談役の求根塾で学んだり、本を読みます。

父は、1979年ビジネスホテルを開業しました。健康ランドが名古屋に生まれたときに、父と視察に行きました。

家族連れなどでにぎわい、楽しそうに過ごしているのが印象的で、「健康ランドのスタイルに、当社がやっているビジネスホテルをくっつける」モデルを考えつきました。

私は27歳で東京から帰り、1989年の石和健康ランド設立とともに社長になりました。7年後の信州健康ランド設立までは仕事をこなすだけで精一杯で、現場でやりつつ学びました。当時、売上に対して大きな借入を抱えたときのバブル崩壊で大変でした。

ホテルとお風呂を中心に、食事処やマッサージなどを付け足していきました。お風呂と宿泊と飲食、どれも「小さなことを少しずつ改善する」ことにしています。

お客様の声が原点

創業以来ずっと大切にしていることは、お客様のことを本当に大切に思い喜んでいただくことです。

社員はお客様の声を聞き、お客様の喜びのためにできることを考え、具体的な意見を会社にぶつけてくれます。

健康ランドを愛しているからこそのご意見であり、苦情までもすべてがありがたいです。

企業理念は「お客様の喜びは社員の喜び 社員の喜びは会社の使命」、「改善改善、また改善」の毎日です。（三森氏、ここまで）

＊

お客様、従業員の声

・（お客様）清潔であり、皆さんの挨拶ですね。明るく感じが良かった。

・（同）お風呂屋さんは他に一ぱいありますが、ここが一番好きです。

・（社員）会社は社員の成長をとても大切にしてくれ、伝書鳩の意見にも社長が回答してくれます。一生健康ランドで働きたい。

・（テナントスタッフ）ランドとテナントはいつも一緒、二人三脚です。私は健康ランドが大好きです。

便器製造工場見学

大阪府　愛原（あいはら）　啓介（けいすけ）

■日程　2月28日(水)10～12時
■場所　TOTOサニテクノ滋賀工場
■参加　5名

「トイレ磨き」でいつも接している便器、大阪掃除に学ぶ会の有志で便器製造について学んでおきたいと、工場見学に行きました。

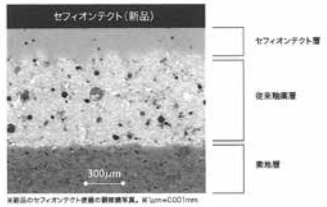
メーカーさんは、さまざまな開発をしてきており、初めて知ることも多く、興味深い見学でした。大きな開発テーマは、「節水」と「汚れ付着防止」でした。

（以下、見学とTOTO資料より）

「節水」と「汚れ対策」両立技術

○便器表面＝セフィオンテクト

汚れがつきにくく落ちやすい施釉（せゆう うわぐすり）加工。百万分の1～2ミリの大腸菌を付着させない滑らかさを追求。1999年開発。他メーカーも同様製品開発。



○洗浄方法＝トルネード洗浄とフチなし形状、「きれい除菌水」

渦を巻くトルネード水流により洗う。フチなし形状により汚れがつきにくく、手入れもしやすい。

ウォシュレットは、水道水中の塩化物イオンを電気分解し、次亜塩素酸水（きれい除菌水）でノズル洗浄。この水は、便器内の見えない汚れを自動分解・除菌し、2時間で真水に戻る。

○排水方法＝サイフォンの原理と滑らかな排水管

サイフォンの原理で汚水を引き込む。便器トラップもセフィオンテクト加工で汚れがつきにくい。

トイレ磨きで気をつけること

この25年で製造された便器は、汚れのつきにくい特殊表面加工されているため、状況を見ながらできるだけ柔らかい道具を使いたいと思いました。

諸先輩から「便器（相手）を傷つけないこと」と教えられてきて、これを守りたいと思った見学でした。

＊TOTO推奨「研磨剤入りナイロンたわし、紙やすりなどは陶器表面を傷つけますので、使用しない様にお願いします」

腰掛式便器の開発

年・タイプ		水量 大	開　発
1914			・国内初の腰掛式水洗便器
1955 C150E		20ﾘｯﾄﾙ	・便座上にタンクを載せて固定
1976 CSシリーズ		13ﾘｯﾄﾙ	・35%節水を図った ・1984「ウォシュレット」商標登録
1993 ネオレスト		8ﾘｯﾄﾙ	・タンクなし水道直結式 ・セフィオンテクト加工
2012 新ネオレスト		3.8ﾘｯﾄﾙ	(同上) ・「きれい除菌水」で使うたびに自動除菌

(出典)「TOTOサニテクノ会社案内」ほか

鍵山教師塾 in 伊勢2024

■日時・内容
　1月27日(土)　13時～24時
○開講式
○講話　①佐古利南先生
　②田仲三夫先生
　③富永晃輝先生
○反省行・水行
○交流会
　1月28日(日)　6時～12時半
○内宮特別参拝
○講話　④金大悟先生
○講話　⑤振り返り 寺岡賢講師
■場所　三重県伊勢市
　修養団伊勢青少年研修センター
■参加　29名

新型コロナにより、公式には4年ぶりの開催であった。4名の先生の講話を聴き、最後に修養団の寺岡賢講師のお話と全員の振り返りの時間が持たれた。

初日の夕刻、希望者は修養団恒例の「水行」(すいぎょう)をおこなって「みそぎ」を終えた後、冷え切った体をお風呂で温め、交流会に臨んだ。

今号は「水行」など修養団での研修内容や参加者の感想をお伝えします。先生方の講話は、追っての号で紹介予定。　(取材・編集　編集室)

水行(記者体験)

舟こぎ運動で体を温め(実際は温まらない)、ふんどし1枚で冷たい五十鈴川に入る―研修最大の難関だ。一度経験しておきたいと思っていたが、実際にやると想定以上の水の冷たさにうめき声が出る。

「五十鈴川 清きながれの 末汲みて 心を洗へ 秋津島人」(明治天皇御製)

声が出ない、呼吸ができない。1分弱だろうか。川から上がると激しく呼吸し、体がかじかんで服がうまく着れない、しばらく体の震えが止まらなかった。

「みそぎ」といわれ、内在する「いのち」を活性化させるとされる。


水行をした五十鈴川(翌朝撮影)

修養団での研修

・規律を正す

講義前後正座の挨拶、講義室入退室時の一礼、宿泊室の寝具のたたみ方、トイレでの出船型スリッパの置き方、食前食後の感謝の言葉など…姿勢がしゃきっとする。

・学びの確認

テキスト「人生ガイド」唱和など

参加者の感想

・尊敬する私の上司が、どんな会で何を学んでいるかと興味があって付いてきました。

・大学生の娘ですが、父がいつもワクワクして行く会とはどんなところかと一緒に来ました。そして、ここが父の居場所なのかと感じてうれしく思いました。私は父の夢(高校教師になる)を叶えてあげたいです。

・生まれて初めて消えてなくなりたいほど心が折れていました。ここに来て心を整えることができました。

・最近心身不調でしたが、みそぎをして死んだつもりで(死ねるほど冷たい笑)やり直そうと思いました。

・昨年1年ぶりに大谷先生にお会いして、私がやらなければいけないことを大谷先生に負担をかけてきたのではないかと気づきました。ようやく「やれずにはおれない」気持ちになり、今後がんばります。

・今回久しぶりに来てみようと思いました。苦しみや辛いなかで、ともに学ぶ仲間がいると感じました。


講話中の田仲三夫先生

――仕事や人間関係で苦しく辛いこともあったのでしょうか、数名の方が感極まって話されました。

鍵山教師塾 in 伊勢の経過

世話人大谷育弘先生のお話…

「20年くらい前、寺田一清先生から修養団の「みそぎ研修」を聞いて興味を持ち、宮崎正志先生たちと通い始めました。途中から近隣の学校でトイレ掃除をしたあと、修養団での講習会を開くようになり、2014年靖國神社での開催と合わせ、名前も「鍵山教師塾」としました。私は座禅をしている関係で、毎回「一期一会」のつもりでいます」

本研修は伊勢で、しかも修養団の研修センターでおこなうことに特徴があると感じました。

【資料】 蓮沼門三と「修養団」

月刊『致知』1998-1

社会教育団体「修養団」の設立者蓮沼門三(1882-1980)は、福島県の貧しい農家の生まれで、小さいころから農業を手伝い、高等小学校卒業後福島師範学校を受験しますが、2年続けて失敗します。

門三は、思いつめて出た無銭徒歩旅行で、「魂が傷つき悩める者を、慰め救済することが自分の使命である」という悟りを得、その後友人の誘いで受けた東京師範学校に合格しました。

一人で掃除を始める

師範学校は全寮制で、生徒たちは禁止されている泥のついた靴や下駄で廊下を歩き回り、掃除がまったく行き届いていませんでした。

門三は、美化を舎監に呼びかけたもののよい返事は返ってこず、「天下を動かそうと思う者は、まず自らが動かねばならない」という信念に基づき、一人で廊下の拭き掃除や便所掃除、運動場の草取りを始めました。皆が寝た後や早朝にするために、うるさがられたり、「点数稼ぎをしている」と陰口をたたかれました。

それどころか、雑巾がけのバケツをひっくり返されたり、きれいに拭いた後をわざと泥靴で歩く嫌がらせにも遭いました。

1年ほど経ったある寒い冬の朝、剣道の稽古で手にけがをしたまま雑巾がけを始めました。アカギレと傷を負った手で、バケツの水は血で赤く濁りました。そこに一人の学生が通りかかり、バケツの中を見て胸を突かれたのか、「蓮沼君悪かった。俺も手伝わせてくれ」と。掃除を真っ先に妨害した一人でした。

修養団の誕生

一人の共鳴者から掃除の輪が広がり、廊下を泥足で歩く学生はいなくなり、トイレもきれいになりました。門三はその後、同志と風紀改正会をつくり、食堂の改革、花壇の造成、校内売店の経営などを実現していきました。

そして1905年、「修養団設立の主旨」をまとめてその必要性を訴え、翌年2月食堂に学生数百人が集まり、修養団の発会式が開かれました。日本における社会教育の源流といわれ、運動に参加した人は戦前だけで600万人を超えたといわれます。

1907年、師範学校を卒業した門三は尋常高等小学校の教諭になりましたが、3年で退職し、修養団活動に専念します。

渋沢栄一翁との出会い

1909年、活動費に困った門三は面識のない渋沢栄一先生に応援を頼もうとしました。だが紹介状もない学生は門番に追い払われます。何度訪れても同じでした。そこで毛筆で長さ10mはあったろう長い手紙を書きました。

手紙は功を奏し、渋沢翁は会うや否や「若い君がよくやっている。できるだけの応援はする」といわれ、財閥の先生を紹介されました。彼らの人脈から、諸先輩の後ろ盾ができ、またそうそうたる青年指導者が運動の同志になってくれました。

1910年、門三は文部大臣岡田良平先生らを動かし、「全国師範学校長会議」での15分の演説を許可してもらいました。有名な「神経衰弱に悩む諸君!」に始まる大演説は、全国の師範学校長80人の度肝をぬき、設立間もない修養団が一躍教育界に広がるきっかけとなりました。

1915年、磐梯山麓の湖畔で、指導者と青年が自己研鑽に励む「第1回全国青年天幕講習会」を開くなど、活発に活動しました。箱根での第8回には、当時皇太子だった昭和天皇にご来臨いただき、国民体操(後のラジオ体操)をご覧になっています。

また1923年の関東大震災では、無料宿泊所や簡易食堂を開設し、日本で初めての組織だったボランティア活動をおこないました。

愛と汗　そして涙の人

門三は、身長1m56cmと小柄で村夫子然としていましたが、「愛と汗の人」といわれたように、自ら努力して汗を流し、他人のことを思いやる愛の人でありました。

門三の故郷に1977年建てられた「愛汗の碑」には、「愛なき人生は暗黒なり　汗なき社会は堕落なり」という門三の言葉が刻んであります。



(若き日の蓮沼門三と渋沢栄一 写真 修養団提供)

子どもの掃除感想文

『清風掃々』編集室

学校や地域の活動での感動を！

○要領

・対象年齢　20歳以下（目安）

・新規・既発表文（他誌含む）

・字数など　自由

○募集します

・世話人さまから先生に頼んで推薦していただくなど

・採用可否や字数調整などの編集は、当室でおこないます

・コラムにふさわしいネーミング

○お問合せ

編集室（本部 連絡先巻末）まで

過去の自分と今の自分

神奈川県川崎市立菅生中学校

2年　渡邊（わたなべ）　創太（そうた）

なんでトイレ掃除はやってみてもいないのに面倒くさいと思うのだろうか？

私はトイレ掃除は「嫌だな」「面倒くさい」と思っていました。他にも、自分と同じような生徒が多くいました。

グループに分かれてトイレの掃除をします。全部で14班あり、自分は13班でした。私はどのように掃除すればよいのかさっぱりわかりませんでした。

そのとき、班リーダー大木ひろみさんに、天井、壁、そして床の順に掃除すると教えてもらいました。理由は「先に床を掃除すると、ホコリが上から落ちて汚れ、また掃除をすることになる」からです。

天井は高いので、大人にやってもらいました。次は壁、角に注意してほこりを落としました。そして便器を掃除しました。トイレ掃除の花形で、一番しがいがあるところです。

まず便座を取り外し、次は便器の周りをスポンジで拭きます。便器の後ろを見ると、ほこりがたくさんたまっていたので、見えないところも見落とさないことが大切だと感じました。



そして便器の中も、スポンジで拭いてあげ、溝は、使えなくなった歯ブラシと洗剤を使い、黒い所をきれいにしてあげます。

便座を洗うとき、裏を見ると、黄色や黒く汚れているところを見つけ、表面よりも裏面の方が汚いということも知れました。

一番心に残ったのは、副リーダーの中田宏さんの話でした。窓の掃除をしてとてもきれいになっていて、日光がトイレ一面に広がる中で、「きれいにすると、汚れているところが見つかって、そこをもっときれいにしてあげたい」と聞いた瞬間、私は彼のような掃除に熱心な、すなわち心の優しい人になりたいと思いました。

最初は、掃除が面倒くさいと思っていましたが、掃除をしていく中で、班の人たちと仲良くなり、協力し合うことで、たくさんの掃除の仕方や楽しみ方を知り、新しい自分を見つけ出すことができました。

いまは日本を美しくする会のトイレ掃除に参加して良かったと思っています。トイレ掃除を教えてくださりありがとうございました。

（2023・12・17関東ブロック年次大会）

＊

50周年を迎えた菅生中に約150名（学校70名）が参加しました。「神奈川掃除に学ぶ会」が、自慢のカレーを200人分つくってくださいました。





SDGsと経営

ゴミ削減プロジェクト「横浜G30」

行政主導によるゴミ削減

参議院議員　中田（なかだ）　宏（ひろし）

本誌で個人や会社、学校などの活動を取り上げていますが、社会の範として大きな力のある政治や行政による活動は多くありません。「国会掃除に学ぶ会」をお伝えしていましたが、このたび行政による事例として、ゴミ削減に挑戦した横浜市のプロジェクト「横浜G30」について、これを主導した中田宏氏に連載で書いていただきます。

（編集室）

＊

相談役の教えにより、政治の世界で自らを律せています

現在、私は参議院議員を務めていますが、これまで衆議院議員、横浜市長を務めて参りました。

決して清らかとはいえない政治の世界に30年に亘って身をおく間、日本を美しくする会の皆さまと掃除に多くを学ばせていただきました。経済、教育、安全保障をはじめ、改めなければいけないわが国の現状は数多くありますが、そのすべてに、根本に宿る日本人の精神と生き方が問われていると考えます。日本人として鍵山秀三郎相談役の生き様に学び、行動することが解だと考えます。

権謀術数渦巻く政治の世界では、よほど意識して自らを律していなければ、知らぬ間に篭絡されてしまいます。私自身は、鍵山相談役から賜ったご指導と学びがあったからこそ、政治の世界で道を踏み外さずに行動してくることができたと強く思い、心から感謝ばかりです。



鍵山相談役、田中義人氏、中田宏氏
（左から　「かがり火」2007-9月号）

衝撃のトイレ掃除

鍵山秀三郎相談役と初めてお会いしたのは、今から36年前のことです。当時24歳の私は松下政経塾の塾生でした。「政治を正さなければ日本は良くならない」と考えた松下幸之助塾主が創設した私塾が、松下政経塾です。

入塾初年度の塾生は寮生活で、毎朝5時50分に起床し、6時からラジオ体操と塾内外の掃除をするのが1日の始まりでした。「身の回りの掃除もできへん人に世の中の掃除はできへん」という、松下塾主の考えが基本にあります。

私にとっては決まり事だからやっていただけの掃除にも、気付きはありました。葉が落ちるのは秋だと勝手に思い込んでいたのに、塾内の多くの木々からは、春も夏もなく葉は一年中落ちてくるという当たり前のことに気づかされました。

1989年（平成元）の秋、講師に鍵山相談役をお迎えしたときのことです。講義もそこそこに「それでは始めましょう」と言って、相談役は我々塾生をトイレに引率し、靴と靴下を脱ぎました。衝撃の掃除の始まりでした。掃除をするとは聞いていなかったし、ましてや〝あの掃除〟をする心の準備もありません。言われるままに初めて小便器の水濾しを手に取り、便器に素手を突っ込み、腰が引けたまま床に手をつきました。

見様見真似でやっただけでしたが、掃除に学ぶという意味を初めて知りました。上から下へと掃除していくこと、雑巾に絞り方があること、床の水の集め方など、ただやるのか、考えてやるのかは大きな違いです。その一つ一つに意味があり、それは人が時間やモノを活かしていくために考え抜かれた行動です。

政経塾では茶道も学びますが、お点前には多くの細かな作法があります。そのすべては客人をもてなし、美味しくお茶を淹れるために、先人が試行錯誤を経て突きつめた結果の道と言えます。鍵山相談役の掃除はまさに道だと感じました。

「エリート」の真の意味

この日、我々同期塾生14人は鍵山相談役から1冊の本をいただきました。生涯の座右の書となる『オルテガ』（中公新書）です。衝撃の掃除体験があったからこそ、その方からいただいた本を読まなければならない、読後感をもってお礼を伝えなければならないと考え、その日の晩から読み始めました。ところが、実に難解な本なのです。

わからないままページだけをめ

くり続けて1週間、ある日この一文に出会いました。

「**エリートとは断れば断ることのできる社会的責務をあえて受諾する者のことである。自らに求めること多く、自らの上に義務を積み重ねる者のことである**」。またも衝撃を受けました。

一流といわれる学校に合格し、一流といわれる会社に入り、世で出世していく人のことをエリートと理解していましたが、オルテガの言う本来のエリートの意味はまったく違うものでした。皆にとって必要なことだが、人が嫌がること、自分がやらなくても責められないこと、そこに自ら進んで役割を果たすのがエリートだと言うのです。政経塾で学ぶ自分は、「オルテガの言うエリートの生き方をしていきたい」、そう書いて鍵山相談役にお礼状を出しました。

衝撃はまだ続きます。賜ったご指導にお礼を伝えたのは私なのに、すぐに相談役からお手紙をいただいたのです。それ以降、また私が手紙を書く、また手紙をいただく、文通というような月日が続きました。やがて、ローヤル(現イエローハット)の朝の掃除にお誘いいただき、後の日本を美しくする会の方々と掃除に学ぶ機会を多くいただくことになります。

社会の本質「ゴミ」

当時、私は松下政経塾でゴミの研究に勤しんでいました。ゴミを出さずに生きている人は一人もおらず、ゴミに社会の本質が詰まっていると考えていたからです。

メーカーは、製品がゴミになることを考えた製品開発や製造をしていません。流通会社、販売会社は、売れ筋のモノは知っていても、使い終わってゴミになった後のことは知りません。国民・消費者は、見た目に美しく値段と利便性から自己欲求のままにモノを買い求めますが、ゴミを出すことに関心を持っていません。そして市町村は、出たゴミを収集し焼却することに懸命ですが、常に後追いでやりきれなくなっていました。

「作って使って捨てる」が漫然とくり返されている我が社会は、いずれの主体も無責任なままでした。

そもそも国(厚生労働省)の方針は、ゴミを燃やして埋めることを第一とし、再利用・再資源化は劣後です。ゴミが増え続けるなか、市町村の処理にかかる税支出は増え、埋め立て地造成には必ず反対され、困難を極めている…。

資源が乏しいわが国のあり方として大いに疑問ですが、何よりも私は、モノを大切にする気持ちが一層失われていくことに強い危機感を持ちました。

「ゴミ」を研究する

私は全国のゴミ処理施設を回り、住み込みでゴミの処理・処分の実態を研究していました。兵庫県西宮市、北海道千歳市、佐賀県多久市などでゴミ収集車に乗り、中間処理施設で働きました。それはすさまじい現場です。

無造作に捨てられたゴミの中から、包丁や注射器、紙おむつなど、あらゆるモノが出てきます。注射針が指に刺さったこともあり、紙おむつの汚物は顔に飛び散りました。分別ルールが守られていないゴミの多さに閉口しました。まさにきつい、危険、汚いの3K職場です。

ゴミの焼却量と埋め立て量を減らすには、再利用・再資源化を増やしていく必要があると強く感じました。もちろん、環境に優しい生活をしたいと考える国民も多くいるはずですが、市町村のゴミ出しルールに従うしかありません。この時期にゴミの現場に埋もれ、思考・立論したことが、15年後の横浜市のG30*に繋がります。(つづく)

*G30

2005年(平成17)から導入された横浜市のゴミ処理システム。ゴミを30%削減する目標を立て、15品目に分類して再資源化を徹底した。大都市をはじめ日本の一般廃棄物(家庭から出るゴミ)の処理・処分システムの大転換に繋がった。





西宮市中間処理施設にて　1990・6・7

佳書抄録

『鍵山秀三郎「一日一話」』(11)
PHP研究所
鍵山秀三郎(著)
亀井民治(編)

苦しみの対処法

「苦しみは、人に打ち明けることによって半分になり、喜びは人に話すことによって倍になる」といわれます。

喜びはともかく、苦しみは人に打ち明ければ、苦しむ人が二人になるだけのことだと思います。

苦しみはできるだけ自分一人で背負い込み、周囲の人まで巻き込まない。

そんな生き方が、見失ってはならない大切な作法だと思います。

(日付6・4)

唾面自乾(だめんじかん)

やくざに監禁されたうえ、日本刀を突きつけられて、脅されたこともあります。顔に唾を浴びせられて、ののしられたこともあります。

そんなとき、自分自身に言い聞かせた言葉が、「唾面自乾」という中国の言葉です。たとえ顔に唾を吐きかけられても拭かずに、自然に乾くまで耐えよ、という教えです。私は、この言葉によってずいぶん救われました。

(6・21)

涙定量、汗無限

耐え難いことや忍び難いことに遭遇したとき、大きな心の支えになったのが、高校時代の恩師に教えていただいた「涙定量、汗無限」という言葉です。

一生のうち、流す涙の量は決まっている。だとするならば、辛い涙はできれば若いうちに流しておけ。

一方、汗は生きている以上、流し続けるものだ。流せば流すだけいいぞ、という教えです。

(7・16)

心安らかな人生

悩みが尽きないのは、自分のことばかり考えているからです。

自分の立場や面子や利益を保つことばかり考えていますと、悩みはどんどん膨らんでいきます。

心安らかな人生を過ごしていくためには、いつも周囲の人を気遣い、人の歓びをわが歓びとできるようになることです。人を喜ばそうと考えている人に悩みはありません。

(8・4)

優しさと辛抱強さ

人がこの世を生きていくためには、お金や知識や技術などさまざまな力が必要になりますが、一番大切なのは心の力です。

たとえお金があっても、技術や知識がすぐれていても、相手のためを思う優しい心がなければ、それらは活かされません。

人に対する優しさと苦難に対する辛抱強さという心の力が身に備わって初めて、すべてのものが活かされます。

(8・14)



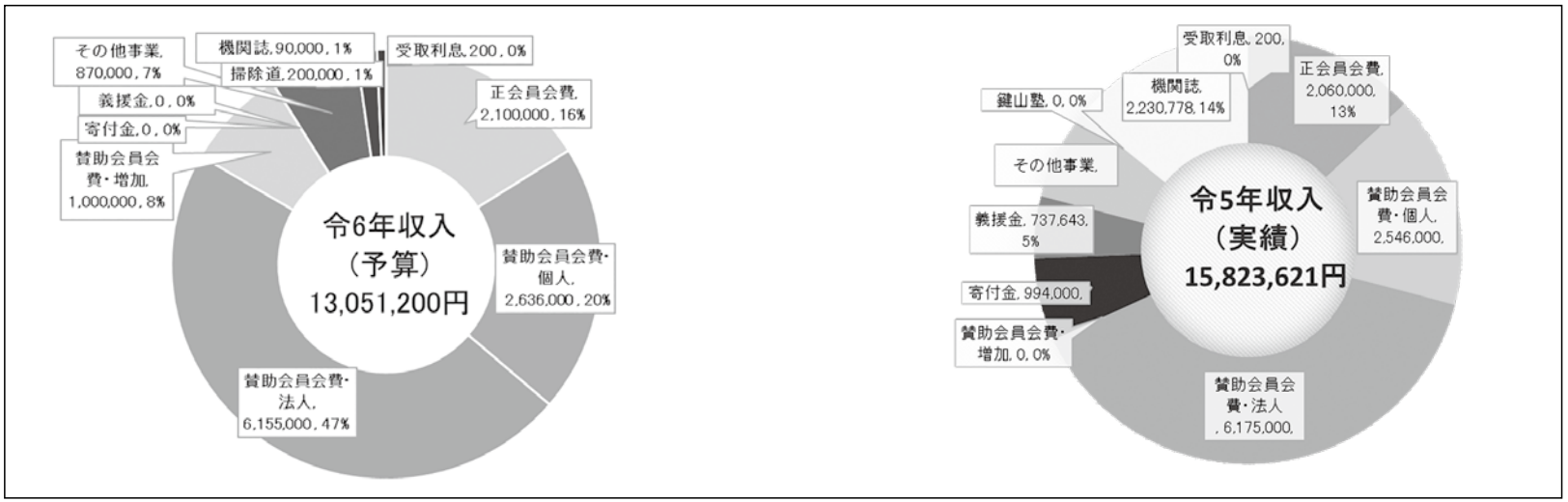
(絵・上村 禎彦(よしひこ))

情報公開（1）

令和6年度予算

ホームページの、「団体概要」―「予算と実績」をご覧ください。

情報公開の意義　「清風掃々」第39号「NPO制度では、所轄庁の監督をゆるくし、その分『情報公開を通じた市民の監視を前提とする』とあり、事業報告書などは一般公開する義務があります。当会は、皆さまによりわかりやすい形で情報公開します」



令和6年度予算

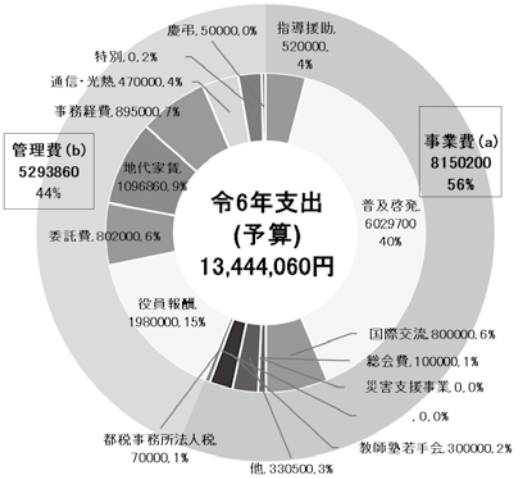
【収入】

会費100万円増加目標、具体的な実行が求められる

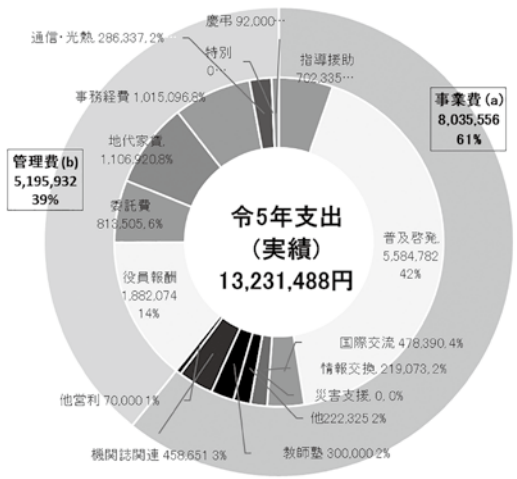
令和5年度実績

30周年記念行事による記念誌販売やご寄付などにより増加

【支出】



大きな支出科目の費用対効果の検証が必要



30周年記念行事による支出増あり

【損益】

令和5年度は、30周年記念行事による収支は増加しましたが、結果的に259万円の黒字となりました。

令和6年度は、コロナも明け記念行事も終わって通常年に戻ります。約39万円の赤字予算。

会費収入による「収入増加」と「支出の見直し」が求められます。

ちいき通信

関東　東京マラソンでプロギング

プロギングは、ジョギングをしながらごみ拾いをするスウェーデン発の新しいフィットネスです。

趣味でマラソンを楽しんでいた北海道の地方公務員川野秀志さんは、２０２３年に担当業務の周知広報の一環としてプロギングを取り入れ、それ以来プロギングにのめり込んでいったそうです。先日10年来申し込み続けた東京マラソンについに当たり、「当選感謝」の思いを込めて、最後の4キロをプロギングをしながらゴールしました。川野さんは、「ゴミに関心を寄せる地元住民が多いほど、その街は輝くと思います。これからも札幌でプロギングの周知拡散活動を活発にやっていきたいです」と意気込んでいます。



（川野士郎）

関東　豊洲・新宿プロギング

3月30日豊洲、4月7日新宿、プロギングを試しに参加しました。

豊洲は12名、拾ったゴミは2・2kgと少なく、1時間で５１００歩の速足ペース。新宿は27名、ときどき軽く走って1時間10分で６４００歩。拾ったゴミは21kgですが、拾いたいゴミだけ拾い、ゴミ袋がいっぱいになればそれまで…。

プロギングのコンセプトは「ポジティブな力で足元から世界を変える」。ゴミ拾いよりも、楽しく交流することが狙いで、会話や周囲の景色を見て道草したり…。初参加者は両方3-4割、ネットで「面白そう」と来たり参加ハードルは低そうです。主催者は、閉会で環境やＳＤＧｓへの意識喚起も付け加えていました。

掃除人は多くのゴミを拾わないとやった気がしませんが、軽い気持ちで参加できる自由さが、若者などにはよいと感じました。

（縄田良作）

関東　鍵山教師塾

鍵山教師塾は２０１４年3月発足、靖國神社、伊勢修養団、朴の森などで先生方らが学びを深めています。

3月24日(日)第27回が靖國神社で行われ43名が参加。8時から清掃奉仕、終了後に咲き始めの桜の前で記念撮影、そして正式昇殿参拝。昼から場所を変えて、澤飯敦(さわいあつし)様の講話でした。



澤飯様は、国を守り国に尽くした先人への感謝から国家公務員になりました。そして千鳥ヶ淵戦没者墓苑の掃除と、10年前から沖縄の未収容のご遺骨を収容する活動をしています。今の仕事に全身全霊で打ち込んでいると、後世の私たちのために命を捧げた戦没者の方々とつながっているように感じます、と話されました。

（縄田良作）

関西　関西ブロック世話人交流会

3月9日、大阪市立総合生涯学習センターにおいて関西ブロック世話人交流会を開催、34名出席、本部総会報告と鍵山相談役のＤＶＤを視聴しました。

相談役が講演をされなくなって8年以上が経ち、直接お話を聴いたことのない会員も増えてきました。年に1回は相談役のＤＶＤ研修を行いたいと、吉岡佑峰さん、愛原啓介さんが準備してくださり、その想いに賛同する方々が集まりました。



ＤＶＤは、月刊致知30周年記念講演「日本人の美徳」（２０１０年）と、(株)ローヤル時代の「感動を売る経営」（日経ＢＰ社）（１９９６年）の2本です。相談役61歳、現役社長のときのお話しは凄みさえ感じました。時は経っても、真実の教えは新鮮で、感謝の念を深めるとともに感動の学びでした。

（下正晴）

関西　新大阪駅街頭清掃

２０１６年6月に第1回を開催し、２０２４年3月までの92回、毎月第2日曜日の6時半から実施しています。少ない時は3名、多い時には20名を超え、下は4歳からご年配の方まで幅広い年齢層の方々に参加いただいています。

当会は掃除道具から学ぶことも大切にしています。掃除道具を場に応じて活用することで効率は上がる一方、場を綺麗にしたいがために力任せに使うことがあります。その場は綺麗にはなっても、道具は傷みます。場を清めるだけでなく、道具を労り、そして自己の成長の三方良しをめざし、自己よがり、自分本位に陥らず、常に新たな心で、視野を広くやっていきたいと思っております。

（西橋聖次）



中国　夢拾い堺川支部

3年半の中国駐在から帰国した2017年、上野和浩さんが主宰する、ゴミを夢と呼ぶ「夢拾い」に共感し、参加するようになりました。コロナ禍で「呉掃除に学ぶ会」ではトイレ掃除が難しくなったため、街頭清掃に切り替え、2020年12月「夢拾い堺川支部」が発足しました。



毎月第一日曜日に呉市繁華街の堺川駐車場を拠点に、「呉掃除に学ぶ会」のメンバーを中心に「広島掃除に学ぶ会」と「夢拾い本部」の応援を得て10名ほどで活動しています。食べ物の残骸が多く大変汚れていた街も、段々きれいになってきました。グレイチングもしっかり磨いています。市民の心が美しくなればと願い、続けていきます。

（中村隆行）

四国　四国ブロック大会in小豆島

「香川県に掃除に学ぶ会をつくろう」と、1998年、前年の「香川掃除に学ぶ会」に続いて立ち上げた「小豆島掃除に学ぶ会」。1月27、28日に第12回四国ブロック大会を開催しました。風光明媚な島に、徳島、四国中央、香川の各掃除に学ぶ会から37名が集結。土庄町立中央公民館にて、利会長のご挨拶、木南一志さんのご講演をいただき、旭屋旅館さんでアットホームな交流会を行ないました。翌日は中央公民館で4班に分かれてトイレ掃除、ベテランの丁寧な仕事に感嘆しました。トイレも、皆さんの笑顔もピカピカ。参加者の皆さん、大会事務局のヒカリグループにお礼申し上げます。いつも2、3人で行っている私達に、掃除を続けていくエネルギーをいただきました。



（諸石正宣）

沖縄　沖縄ブロック年次大会

2月16、17日、4年ぶりの学校での開催に175名が集いました。

会場の浦添市立浦西中学校は、支援者の要請と学校のご理解の元、2019年5月から沖縄南部掃除に学ぶ会の(株)てだこ中心に、毎週金曜日7時40分～8時30分、生徒10人と一緒にトイレ掃除を実施していました。そういう背景がありましたので、113名の生徒さんはみな素直に取り組んでくれました。

やはり生徒さんを交えてのトイレ掃除には大きな意義を感じます。今大会では、本部の鍵山幸一郎さんにリーダー・サブリーダーの指導もしていただきました。沖縄各地の掃除に学ぶ会や企業様各位のお力添えをいただき、有意義な大会となりました。

（佐和田健二）



川柳こころの散歩道（10）

私の周りを見回して思うに、川柳をやっているとボケないのでは？　電車でも歩きながらでも五七五と指折り数えてアタマを働かせているからでしょうか？

川柳ワンポイントアドバイス

「具体的な言葉を用いる」

△困難があればその分福来たり
（東京都／池田啓一郎）

人生山あり谷あり、きっと啓一郎さんの体験からの実感なのでしょう。ただこのままでは川柳作品としては、金言のようになってしまいます。

○添削句
困難を耐えてようやく芽吹く春

「芽吹く」という具体的な言葉を入れ、冬を耐え抜いた木の命と作者の人生への思いを絡めて詠んでみました。

＊お題「難しい」入選作 13名39句

むじゅかしい笑顔で描くママの顔
（大阪市／渡邊稔子）

・上五の幼子の言葉がこの句の魅力。こんな楽しい「難しい」もあるのです。

右は丸左は四角指揮をする
（松戸市／佐藤誠）

・なんと、右と左、丸と四角の言葉で難しさを表現されてお見事！

空仰ぐ世界の紛争止まらない
（東京都／川野士郎）

・惜しむらくは中八になったところですが、上五に作者のやりきれない心情が表された佳句です。

難病の宣告外は蝉しぐれ
（高槻市／岡本　悠）

難しいキラキラネーム孫に付け
（大阪市／川端日出夫）

難しい顔を被って席に着く
（草津市／宇野弘子）

難しい言葉並べて責めてみる
（大阪市／伊藤恵子）

亡き父の小難しさも今は好き
（宝塚市／巽　郁子）

哀しみと難しいのがいいんだね
（大阪市／池永重彦）

難しい顔した父の喜寿祝い
（泉佐野市／古谷りり）

50号お題「祝」（6／15締切）
51号お題「歌」（9／15締切）
s.f777.ikenaga@gmail.comまで。
ご一緒にLet's川柳！

中川千都子（なかがわちづこ）
心理カウンセラー、川柳作家。
川柳専門誌『現代川柳』編集長

日本を美しくする会　本部世話人(理事)名簿

	役職(担当)	氏名	会社名	〒	住所	電話	FAX
理事	会長	利　哲雄	日本企画（株）	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
理事	副会長	白鳥　宏明	白岩運輸（株）	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
理事	副会長・事務長	千種　敏夫	(有)エムシイエス設計	194-0043	東京都町田市成瀬台2-30-14-C303	042-739-1926	042-739-1927
理事	財務担当部長	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
理事	広報担当部長	中島　セイジ	(株)QB総合研究所	111-0024	東京都台東区今戸1-2-10 JKビル1F	03-6802-4788	03-6802-4789
理事	北海道ブロック長	田村　健一	北ミート（株）	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
理事	副*東北ブロック長	冨田　浩志	(株)とみひろ	990-0031	山形県山形市十日町4-1-3	023-635-1212	023-635-1228
理事	関東ブロック長	前濱　勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368
理事	中部ブロック長	杉浦　三代枝	スギ製菓（株）	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
理事	北陸ブロック長	松木　延倫	土地家屋調査士事務所	918-8104	福井県福井市板垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
理事	副*関西ブロック長	下　正晴	(株)丸金	577-0815	大阪府東大阪市金物町5-13	06-6724-1055	06-6721-9009
理事	中国ブロック長	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
理事	四国ブロック長	田中　正志	ギノー味噌（株）	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田松ノ隣345-1	089-984-2135	089-984-7300
理事	副*九州ブロック長	廣瀬　透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
理事	沖縄ブロック長	石川　元義	(株)いしかわ文明堂	903-0104	沖縄県中頭郡西原町字兼久66	098-835-8001	098-835-8177
理事		竹花　豊	おやじ日本	150-0043	東京都渋谷区道玄坂1-2-3-17階	03-3499-1877	03-3499-1877
理事	顧問	田中　義人	東海神栄電子工業（株）	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4414	0573-26-5040
理事	顧問	伊藤　信幸	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
監事		鍵山　幸一郎	(株)幸栄企画	154-0001	東京都世田谷区池尻2-37-12-701	03-5712-8808	03-5712-8810

(注)「副*」副会長

各地　代表世話人名簿

	会の名称	代表世話人	会社名	〒	住所	電話	FAX
海外	ブラジル	利　哲雄	日本企画（株）	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
	中国	陳　暁麗	泰邦（株）	540-0012	大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-801	06-6966-0028	06-6966-0029
	アメリカ	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
	台湾	秋山　浩司	東海神栄電子工業（株）	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
	北海道	ブロック長　田村　健一					
1	札幌	田村　健一	北ーミート(株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
	東北	ブロック長　冨田　浩志　副ブロック長　柳田　聡					
2	青森	中村　ゆう	(株)三和堂内	038-0003	青森県青森市大字石江字三好69-1	017-718-1721	017-718-1721
3	秋田	佐藤　正俊		010-0821	秋田県秋田市濁川字井戸尻45-8	080-8204-4090	－
4	岩手	又川　俊三	(株)クリエイト	020-0022	岩手県盛岡市大通3-1-23-3F	019-606-3115	019-606-3133
5	宮城	柳田　聡	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
6	多賀城	小畑　貞雄		985-0832	宮城県多賀城市大代1-13-3	022-364-4027	022-364-4027
7	山形	金子　昌弘	(株)エム・エス・アイ	990-2473	山形県山形市松栄1-5-7	023-647-3966	023-647-3967
8	会津	五十嵐新典	(株)山新商店	965-0059	福島県会津若松市インター西76	0242-23-1414	0242-22-1833
9	たむら	白石　高司	(株)白石モータース	963-4312	福島県田村市船引町船引字城ノ内64	0247-82-0232	0247-82-0215
10	郡山	佐藤　克敏	(株)ヨークベニマル内	963-8543	福島県郡山市谷島町5-42	024-983-3100	024-983-3125
	関東	ブロック長　前濱　勝二　副ブロック長　波多野　勝彦　渡辺　栄司　中鉢　悟　古旗　達也　原田　孝之					
11	茨城	小倉　和良		319-0106	茨城県小美玉市堅倉1-2	0299-48-0319	0299-48-0319
12	古河	田口　精二	シューズサロンタグチ	306-0037	茨城県古河市錦町1-82	0280-22-0475	0280-22-0465
13	栃木	原田　孝之	小澤製粉販売（株）	329-0014	栃木県下都賀郡野木町野木2061	0280-56-0011	0280-56-0021
14	足利	福田　茂夫	(株)ヒューマンネットワーク	326-0826	栃木県足利市借宿町281-12	0284-73-1270	0284-73-2757
15	新潟	清水　伸	(株)博進堂	950-0807	新潟県新潟市東区木工新町378-2	025-274-7755	025-274-7679
16	十日町	丸岡　武	(株)村山土建	948-0031	新潟県十日町市本町1-71-1	025-752-3721	025-752-3891
17	寺泊	菊地　正明		940-2523	新潟県長岡市寺泊田頭700-2	0258-75-3365	0258-75-3365
18	埼玉	大川　浩司		330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-69-1	080-6522-9099	
19	京葉	木村　智博		276-0033	千葉県八千代市八千代台南1-16-6-206	090-8949-0097	
20	上総	小川　義則	(株)トーヨー施工サービス	299-0257	千葉県袖ケ浦市神納2725-1	0438-63-1300	0438-63-3441
21	山武	野老　真理子	大里綜合管理（株）	299-3236	千葉県大網白里市みやこ野2-3-1	0475-72-3473	0475-72-4001
22	れいたく	冨田 裕之	モラロジー研究所	277-0065	千葉県柏市光ヶ丘2-1-1	047-173-3325	047-173-3324
23	茂原	秋葉　幸男	御園建設(株)	297-0029	千葉県茂原市高師521-6	0475-23-3732	0475-24-3481
24	東京	渡辺　栄司	ワタケイ紙器(株)	136-0072	東京都江東区大島2-9-28	03-3682-6074	03-3682-6108
25	日野	惟住　浩太郎		191-0032	東京都日野市三沢1508-10	042-594-7730	042-594-7730
26	神奈川	中鉢　悟	中鉢建設（株）	241-0001	神奈川県横浜市旭区上白根町744-4	045-954-3497	045-954-3613

	九州	ブロック長　廣瀬　透	副ブロック長　鎌田　安典(連絡先　鎌田　善政に同じ) 中尾　康二				
79	北九州	大下　英勝	新星電機(株)	805-0008	福岡県北九州市八幡東区枝光本町7-7-901	093-980-7375	093-980-7375
80	筑豊	土居　幸則	筑豊住設サービス	820-0702	福岡県飯塚市平塚258-99	0948-72-1492	0948-72-1492
81	糸島	馬渡　誠	浮岳さん	819-1116	福岡県糸島市前原中央2-7-8-901	090-4583-7773	092-846-5288
82	筑後・八女	矢加部　尚武	(有)アークシティ	833-0012	福岡県筑後市溝口762-1	0942-48-5531	0942-53-6777
83	大分	矢野　雅則	合同会社　矢野商店	870-1137	大分県大分市宮崎台3-2-2	097-567-1772	097-567-1772
84	日田	長野　次郎	(株)光会館	877-0071	大分県日田市中本町7-12	0973-26-3077	0973-23-0158
85	熊本	蓑田　修治		860-0061	熊本県熊本市西区上高橋2-16-15	090-3328-1150	096-329-8308
86	八代	松永　謙悟	ふじ彩 (株)	866-0873	熊本県八代市横手町1680-2	080-6428-5942	0965-35-8804
87	人吉	田中　裕二	(株)りーな21	865-0005	熊本県人吉市上青井120-4	0966-22-1123	0966-22-1103
88	宮崎	奥野　幸子		880-0944	宮崎県宮崎市江南2-31-14	0985-51-3788	0985-52-7978
89	長崎	梅元　建治	ナガサキベイデザインセンター	850-0911	長崎県長崎市東山手町8-18	095-820-5598	095-820-5598
90	佐世保	前田　琢也	(株)セントラルホテル佐世保	857-0872	長崎県佐世保市上京町3-2	0956-25-0001	0956-22-8435
91	鹿児島	鎌田　善政	鎌田建設 (株)	899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根141	0995-46-3000	0995-46-3114
92	薩摩隼人心洗組	田原　憲夫		899-5115	鹿児島県霧島市隼人町東郷402	0995-42-8141	0995-42-8141
93	さつま川内	小城　年久	小城製粉 (株)	895-0041	鹿児島県薩摩川内市隈之城町1892	0996-22-4161	0996-20-3973
94	指宿えい	土橋　真也	めぐみ写真館	891-0701	鹿児島県南九州市頴娃町郡307-3	0993-36-0148	0993-36-0510
95	徳之島	安田　司		891-7102	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳986-8	090-2519-9308	
	沖縄	ブロック長　石川　元義	副ブロック長　川畑　文夫　佐和田　健二				
	ブロック長	石川　元義	(株)いしかわ文明堂	903-0104	沖縄県中頭郡西原町字兼久66	098-835-8001	098-835-8177
96	やんばる	喜瀬　朝夫	(有)朝日興業企画	905-0021	沖縄県名護市東江5-9-23	0980-52-1588	0980-52-5375
97	沖縄中部	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
98	沖縄南部	佐和田　健二	(株)てこだ	901-2104	沖縄県浦添市当山2-5-6	098-943-3922	098-879-1505

便教会　名簿

	地域	会名称	代表者	〒	住所	電話	FAX
1	宮城	宮城便教会	村上　幸宏	983-0006	宮城県仙台市宮城野区白鳥2-15-10	022-258-4641	022-258-4641
2	群馬	群馬便教会	新井　国彦	370-0042	群馬県高崎市貝沢町447	090-8871-6929	
3	東京	東京便教会	山﨑　敏哉	201-0013	東京都狛江市元和泉1-19-4-210	080-3012-1519	
4	埼玉	埼玉便教会	村田　陽	340-0006	埼玉県草加市八幡町64-3	090-9146-2626	
5	静岡	静岡便教会	柿島　由和	416-0947	静岡県富士市宮下414-2	090-9932-5969	
6	長野	長野便教会	太田　智明	383-0021	長野県中野市西2-9-2	090-2238-2934	
7	愛知	愛知便教会	高野　修滋	445-0802	愛知県西尾市米津町天竺桂27	090-4215-1727	
8	大阪	大阪便教会	西橋　聖次	538-0044	大阪府大阪市鶴見区放出東1-24-24	090-7309-4821	
9	兵庫	兵庫便教会	木田　重果	665-0034	兵庫県宝塚市小林5-3-43-412	090-4293-3428	
10	京都	京都山城便教会	小笹　大道	602-8173	京都府京都市上京区金馬場町163	090-8467-9638	
11	三重	伊勢便教会	上野　祐一	516-0043	三重県伊勢市藤里町68-207	080-1615-7317	0596-65-7209
12	九州	福岡便教会	泊　宏治	819-0036	福岡県福岡市西区吉武403-23	090-2963-3951	
	日本を美しくする会　本部事務所			160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	03-6304-5880	03-6304-5990

本書を読んでくださった方へ

「子どもたちに体験させたいな」「自分もやってみたいな」とお感じになりましたら、
まずこの名簿の「各地の代表世話人」あるいは「便教会の代表者」に連絡をされませんか。
どうぞ、勇気をもって一歩を踏み出してください。

●全国の先生方へ

「子どもたちに体験させたいな」と希望される先生へ。
時間は60～180分。準備物は、濡れてもよい靴、マスクなど。
詳細はご相談です。

●一般の方へ

掃除は「自己修養」が本題ですので、「ひとり掃除」でも結構ですが、同じような気持ちを持つ人との活動は、より楽しいものになると思います。



絵　青田菜生

各会の代表世話人、便教会の代表者の方へ

もし先生や一般の方から問い合わせがありましたら、ぜひ丁寧に温かく迎えてあげて下さい。
掃除の活動が、教育分野や一般に広まるために、ご支援のほどよろしくお願い致します。

27	大和	山崎　貞雄	(株)ニッコー	242-0025	神奈川県大和市代官1-10-3	046-269-0217	046-269-0284
28	山梨	前濱　勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368
	中部	ブロック長　杉浦　三代枝	副ブロック長　白鳥　宏明　木下　豊				
29	伊東	白鳥　宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
30	静岡	杉井　保之	(株)オリジン・コーポレーション	425-0041	静岡県焼津市石津679	054-656-2040	03-6674-2451
31	磐田	金原　一平	キンパラ(株)	438-0086	静岡県磐田市見付1963-11	0538-35-5404	0538-34-0191
32	森町	榊原　淑友		437-0026	静岡県周智郡森町一宮94	0538-89-7810	0538-89-7810
33	浜松	黒柳　誠	(一社)未来学校	434-0042	静岡県浜松市浜名区小松906-1	080-4166-8798	－
34	小布施	木下　豊	文屋	381-0204	長野県上高井郡小布施町飯田45	026-242-6512	026-242-6513
35	中南信	宮之本　伸		390-0816	長野県松本市中条13-3-12	070-2665-2077	－
36	美濃加茂	桜井　芳明	桜井食品(株)	505-0051	岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣343	0574-54-2251	0574-54-2253
37	中津川	加藤　景司	(株)加藤製作所	508-0011	岐阜県中津川市駒場447-5	0573-65-4175	0573-65-4177
38	大正村	田中　義人	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
39	豊橋	印南　道孝		440-0025	愛知県豊橋市井原町45-7	0532-62-0401	0532-62-0401
40	豊田	古井　弘二	(株)道千	471-0013	愛知県豊田市高上1-6-7	0565-80-1681	0565-80-3301
41	西三河	杉浦　三代枝	スギ製菓(株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
42	名古屋	大塚　久利		464-0846	愛知県名古屋市千種区城木1-25-2	090-8957-3632	052-751-7558
43	三重	伊東　俊一	(有)南勢建築設計	516-0035	三重県伊勢市勢田町580-3	0596-25-7667	0596-25-8201
	北陸	ブロック長　松木　延倫	副ブロック長　市村　昭代史　藤本　雅明				
	副ブロック長	市村　昭代史	村昭繊維工業 (株)	929-1332	石川県羽咋郡宝達志水町北川尻73	0767-28-2421	0767-28-3773
44	おやべ	藤本　雅明	ふじもと自力研究所	932-0055	富山県小矢部市西町2-28	0766-68-0563	0766-68-0563
45	福井	松木　延倫	土地家屋調査士	918-8104	福井県福井市坂垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
46	石川	森川　和重	協同組合土質屋北陸	920-0059	石川県金沢市示野町西7	076-268-4666	076-268-4510
47	かが能美	山口　健次	(有)山口陶業社	923-1121	石川県能美市寺井町レ131	0761-57-1045	0761-57-1040
48	モナの森	岸野　守雄	箔里仏具製作所	923-0931	石川県小松市大文字町66	0761-22-1339	0761-23-3171
	関西	ブロック長　下　正晴	副ブロック長　田中　喜一朗　羽根　康英				
49	滋賀	後藤　敬一	滋賀ダイハツ販売(株)	520-3046	滋賀県栗東市大橋4-1-5	077-551-0081	077-551-0071
50	高島	川越　清司	(有)宏和商事	520-1623	滋賀県高島市安曇川町下小川420	0740-32-1091	0740-22-1577
51	彦根	田中　喜一朗		527-0107	滋賀県東近江市今在家町286	050-5802-1485	0749-45-1867
52	京都	時政　和輝		601-8411	京都府京都市南区西九条北ノ内町11	075-681-9166	075-662-0187
53	奈良	羽根　康英		639-2164	奈良県葛城市長尾282	0475-48-2682	0745-48-2682
54	大阪	下　正晴	(株)丸金	577-0815	大阪府東大阪市金物町5-13	06-6724-1055	06-6721-9009
55	泉州	丸山　春樹	(株)丸山製作所	597-0081	大阪府貝塚市麻生中942-1	0724-26-1575	0724-26-1575
56	和歌山	平松　裕司	平松整骨院	640-8125	和歌山県和歌山市島崎町7-5-3	073-425-9101	073-425-9101
57	西宮・三宮	松田　泰英	コウベ・プレシアス・パール	650-0033	兵庫県神戸市中央区江戸町98-1	090-9884-0616	
58	尼崎不尽	町田　豊彦	サンショウ (株)	561-0856	大阪府豊中市穂積1-3-16	06-6866-4000	06-6866-4010
	中国	ブロック長　小西　敏之	副ブロック長　岡本　淳治				
59	岡山	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
60	広島	井辻　栄輔	井辻食産(株)	731-0301	広島県安芸高田市八千代土師67-2	0826-52-7121	0826-52-7101
61	東広島	上野　和浩	上野物産(株)	739-0007	広島県東広島市西条土与丸3-1-15	082-423-2220	082-422-8022
62	福山・尾道	岩城　勇二	ソニー生命保険 (株)	720-0811	広島県福山市紅葉町1-19-4F	084-927-3731	084-927-3744
63	安芸高田	山田　正治	(株)杉野自動車	731-0523	広島県安芸高田市吉田町山手1346-1	0826-43-0600	0826-43-0707
64	三原	岡本　淳治	(株)椿き屋	723-0052	広島県三原市皆実2-1-10-1103	090-1076-8358	0848-61-5771
65	呉	佐々木　一幸	広ステーションホテル	737-0131	広島県呉市広中町4-29	0823-71-2233	0823-73-2135
66	松江出雲	坂本　美由紀	みゆき農園	693-0011	島根県出雲市大津町1393-4	0853-21-1589	0853-21-1589
67	浜田江津	稲元　正敏		697-0003	島根県浜田市国分町600	0855-28-0574	0855-28-0574
68	益田	山崎　純	(株)キヌヤ	698-8503	島根県益田市常磐町4-38	0856-23-0865	0856-23-1131
69	萩	柴田　千恵子		758-0011	山口県萩市椿東4698-15	0838-22-9514	0838-22-9514
70	岩国	三好　祐司		743-0042	山口県光市宝町5-18	090-7991-8859	0833-71-3581
71	山口市	重枝　昭彦	朴の森　鍵山記念館	754-0894	山口県山口市佐山131-1-2	083-989-3884	083-989-3884
72	宇部	宮川　洋司		755-0083	山口県宇部市南小羽町1-8-7	080-2888-4678	0836-35-8207
73	下関	松村　久		751-0832	山口県下関市生野町2-18-6	083-252-4980	083-252-4980
	四国	ブロック長　田中　正志	副ブロック長　鍛谷　幸一				
74	香川	久保　勝是		762-0025	香川県坂出市川津町729	0877-45-1254	0877-45-1254
75	阿南	古川　博	古川運送(有)	779-1620	徳島県阿南市福井町吉谷54-1	0884-34-3070	0884-34-2868
76	徳島	鍛谷　幸一	(株)ふじや	779-3117	徳島県徳島市国府町日開字東456-2	088-642-0050	088-642-9888
77	愛媛	田中　正志	ギノー味噌(株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田345-1	089-984-2135	089-984-7300
78	四国中央	毛利　久美子		799-0101	愛媛県四国中央市川之江町515-1-103	0896-58-5665	0896-58-5665

ひろば

本誌は、皆さまからの情報提供によって成り立っています。日頃からのご支援に感謝いたします。

【「清風掃々」第49号】　読者の声

・読み応え満載、大変充実した内容。
・社会教育雑誌のようで、おもしろい。

福岡掃除に学ぶ会30周年

・森先生が紙屑を拾われたり貧乏草の話など、情景が目に浮かんだ。
・とても深い記事で、何度も読み返し、本当に感動した。私の掃除の芯棒になると思った。

謙学会

・実践と座学の取り組みは、大変参考になった。
・市山相談役の行動力と企画力が素晴らしい。研修生が羨ましい。

栃木掃除に学ぶ会

・取材でしっかり内容が入っていた。活動参加者にも良かったのでは。

健康ランド

・三森社長のアイデアと行動力が秀逸、「一生健康ランドで働きたい」は最高。私も宿泊したい。

便器製造工場見学

・「便器を傷つけてはいけない」多くの人を啓発する、意味ある記事だった。

鍵山教師塾　伊勢

・水行は興味深かった。蓮沼門三の寮での掃除の取り組みが心に残った。
・蓮沼と『修養団』大いに感化された。

子どもの掃除感想文

・中学生渡邊君「便器をきれいにしてあげます」、なんてすばらしい‼

「横浜G30」中田宏さん

・こうした方がおられるのですね。
・若いときの西宮の処理施設での写真を見て、一貫した姿勢を感じた。

（同）【執筆者様から】

○謙学会

活動が全国に伝わって嬉しいです。全国に良い影響が広まればなお嬉しいですね。若い人を育てていきたいですね。人を育てる活動をされている方々に、いろいろご教示いただければ幸いです。

○栃木掃除に学ぶ会

よく３００回続けてきたと思います。立上げ3人のハーモニーが、若い方々につながっています。２００回記念で寄贈いただいた、「継続こそ力なり」を印刷したTシャツで活動しています。

○便器製造工場見学　愛原啓介様

サンドメッシュとカネヨンの組み合わせが適正と信じていましたが、汚れ防止技術が進んでいました。その後小倉工場も見学、私たちのやり方は改善が求められていると実感しました。